

**あったらいいな
こんなもの！
一災害に強い遊子を
目指してー**

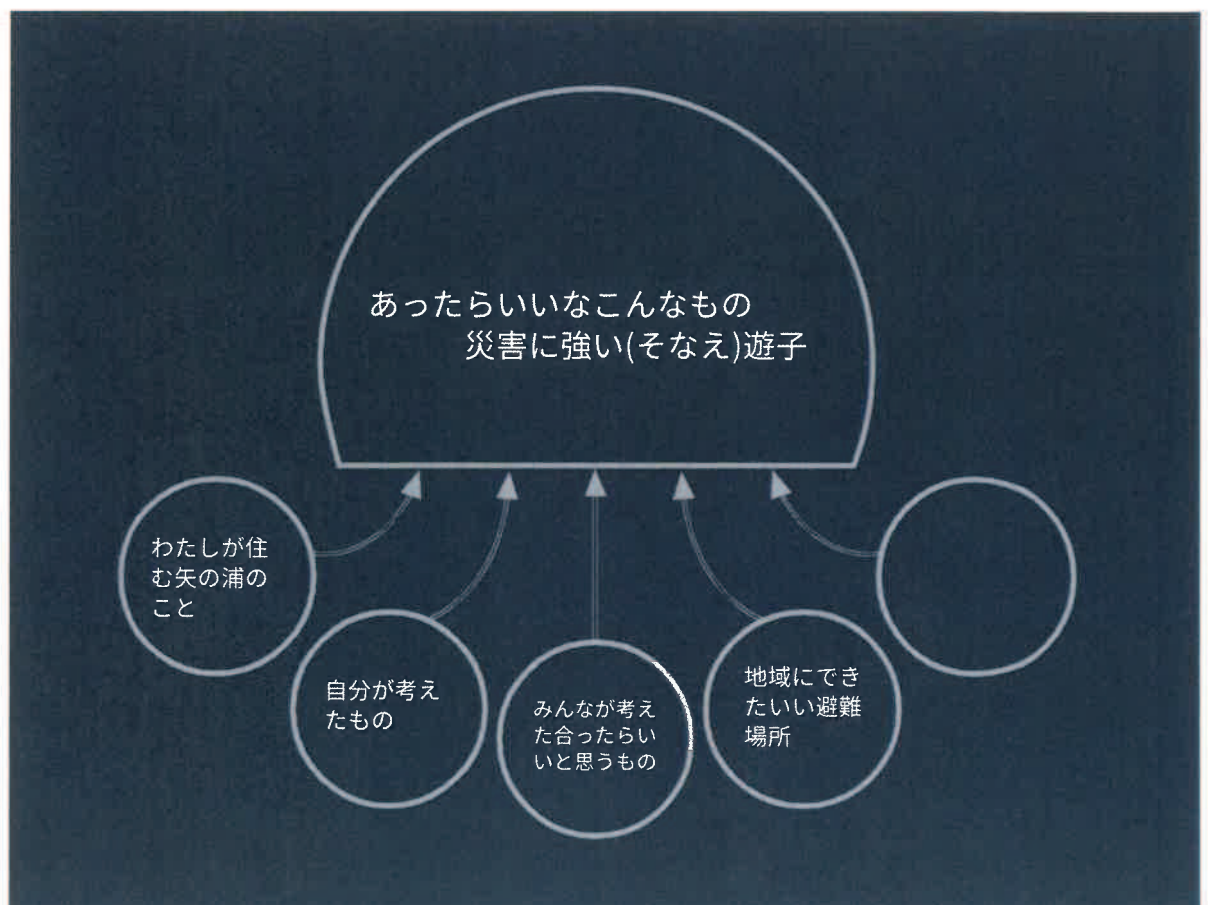


**宇和島市立遊子小学校
4年
壽崎 明莉**

課題設定の理由

わたしが、この課題を設定した理由は、遊子は海が近くて、津波のひがいを受けやすい地いきだと知ったからです。わたしは、真珠や魚のようしょくがさかんで、きれいな海が近くにある遊子が大好きです。わたしの家も、真珠ようしょくをしています。だから、少しでも、津波のひがいが少なくなって、災害に強い遊子になってほしいと思ったからです。そんな遊子になるために、みんなで遊子にあったらいいと思うものを考えました。考えたものが実さいされたら、災害に強い遊子になりそうだし、いろいろなところで役に立ちそうだと思って、みんなに知ってほしいと考えたからです。

課題解決に向けた計画



目次

遊子小学校での学びをみんなに発信して、

自分の命、みんなの命を守る

アイテム（体験したこと・勉強したこと）を

紹介します！！

1 知らせたい・伝えたいアイテム①

○ わたしが住む矢の浦のこと

2 知らせたい・伝えたいアイテム②

○ 自分が考えた

あったらいいなと思うもの！

3 知らせたい・伝えたいアイテム③

○ みんなで考えた

あったらいいなと思うもの！

4 知らせたい・伝えたいアイテム④

○ 遊子にあったらいいな

こんなひなん場所！

5 まとめ

1 知らせたいアイテム①

○ わたしの住む矢の浦のこと

今、私が住んでいる矢の浦について、しょうかいします！
矢の浦は、目の前に海が広がり、家のうらは、すぐ山になっています。真珠のようしょくがさかんで、私の家も、真珠ようしょくをしていて、きれいな真珠を作ることができるのがじまんです。

そして、令和6年7月に、お姉ちゃんとお母さんといっしょに、矢の浦地区のデジタル防災マップを作りました。そこで、いろいろなことが分かりました。

矢の浦シスターズチーム

ぼうさい探検隊マップ



全部で、21か所のポイントを調べて、きけんな所や、安全で役に立ちそうなところなどが分かりました。それぞれのポイントの中で、気になるポイントをまとめました。きけんな所は、少しでもかいぜんして、災害に強い矢の浦になるといいなと思います。

ポイント1 きけん



ひなんけい路、避難場所に行くまでの階段

階段の石がのぼりにくい。段差が大きく高齢者の方は上がりにくいと思う。おばあちゃんは、行くまでが大変だと話していた。

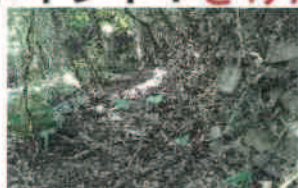
ポイント3 きけん



ひなんけい路

歩きづらく足場が危険。この上に防災倉庫があるのにちゃんとした道がないのが心配。大きな地震があったらどうなる？

ポイント4 きけん



ひなんけい路

石がきがある。道がせまい。こんな状態でもしもの時にたどりつけるのかな。避難が難しそう。

ポイント8 きけん



ひなんけい路

道がせまい。石がきがある。急なしゃ面がある。手すりが途中からない。待機したり、避難したりするのが危なそう。

ポイント9 きけん



ひなんけい路、避難経路の途中にある大きな岩

歩いている途中に大きな岩を発見。もしもの時は地震で崩れていないか、避難の途中に崩れないか心配。

ポイント10 きけん



ひなんけい路、避難場所までの階段

階段に電気がないから、夜間の避難が大変そう。手すりがあるのは安心。階段はガタガタになったりしないかな。

ポイント15 きけん



海

海にいけすや船がある。真珠の養殖の作業場があってたくさんの人が働いている。大きな地震の際には、すぐ避難！

ポイント20 きけん



がけやしゃ面、川、おばあちゃんに聞いた場所

石がきがある。急なしゃ面がある。インタビューで聞いた場所。山の上の方から水が流れてきている道筋が分かった。

歩いて調べて、こんな所を見つけました。きけんな所が少しでもよくなってほしいです！

安全なポイントだと思っけていても、もしものときは分からない！

ポイント2 安全



あん内ばん、ひなんけい路、海拔と逃げる場所を表した看板
さいがい時に役に立つ。海拔が10mあれば、想定されている津波より高いので、この場所まで来ていたら安心かも。

ポイント16 安全



がけやしゃ面、真珠の作業場から見た様子
さいがい時に役に立つ。道路の側面は、よう壁とストーンガードが続いていた。もしもの時に、被害を少なくしてくれそう。

ポイント5 安全



ひなん場所、ぼうさいそう庫
高台になっている。さいがい時に役に立つ。周りの状況が確認できないくらい足場が悪くて、たどりつけるかわからない。

ポイント6 安全



ひなん場所、防災倉庫の中に入っているもの
中に入っているものはこれだけで、地域の人が避難したら足りない。やはり、非常用持ち出し袋を持って避難したい。

ポイント13 安全



がけやしゃ面、よう壁にある海拔を示している看板
道沿いのよう壁に5メートルと書かれた看板あり。ここは、津波は3~4mと予想されていて、この高さより上に逃げたらいい。

ポイント14 安全



これから整備される場所
高台になっている。防災学習で市議さんから、ここが、これから整備されると聞いた。奥が広いし、いろいろ備えられそう。

ポイント21 安全



がけやしゃ面、段畑の前に作られたよう壁とストーンガード
昔は、段畑が広がっていた。今は、木や草で覆われていて分かりにくいですが、石や土砂が落ちてきたときの備えがされている。

家族にインタビューをしました！

○前、ぼうさいそうこの中の確認をしたら、ぼうさい食の期限が切れているものがあった。定期的に確認が必要だと思った。

○家のうらには、昔、段畑があった。大雨のときには、滝のように水が流れ落ちる場所がある。大雨のときには気を付けたい。

普段から、いろいろ見たり、家族と話し合ったりしておきたいです！

2 知らせたいアイテム②

- 自分が考えた
あったらいいなと思うもの！

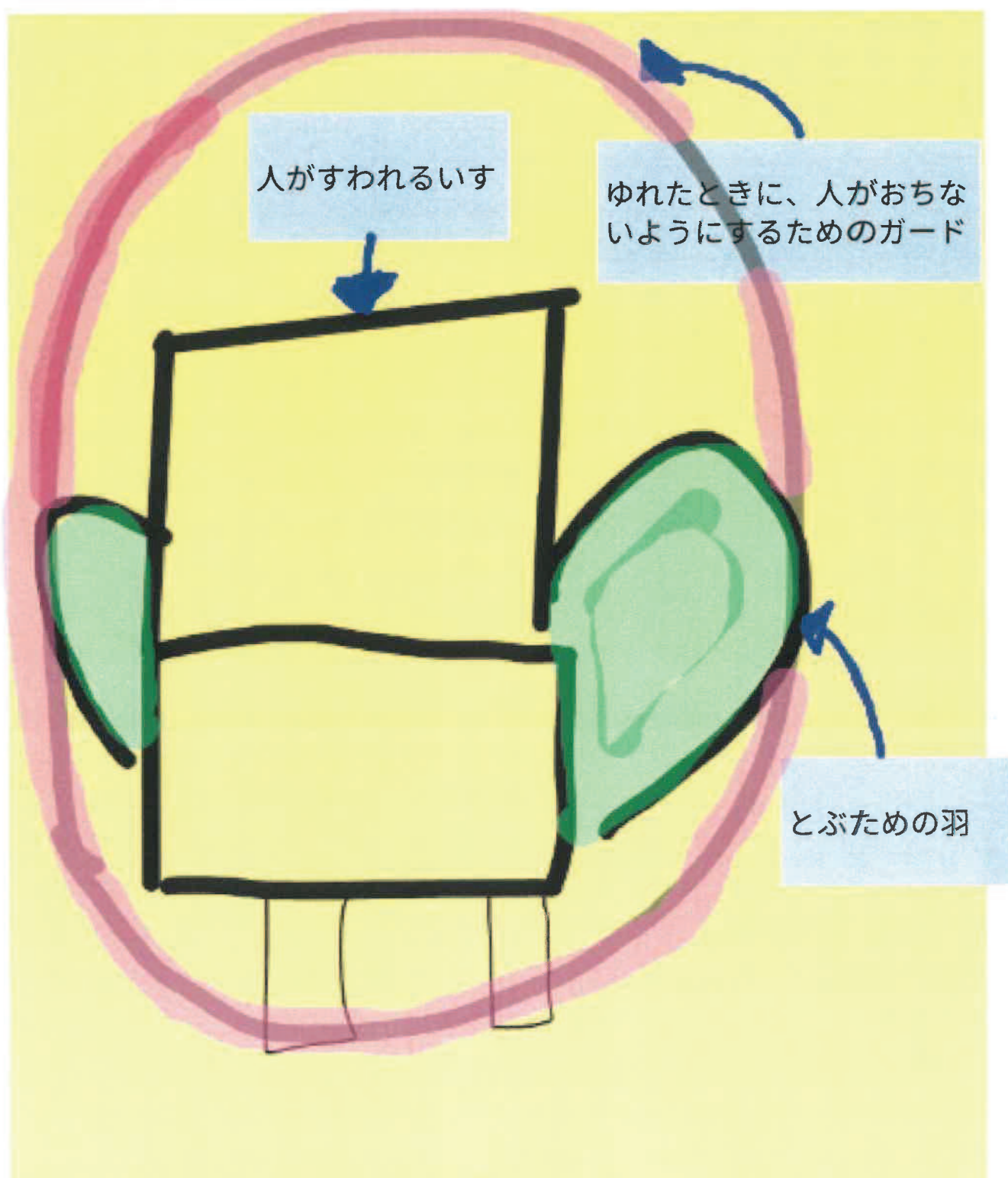
私が住んでいる矢の浦にあったらいいものは、

- ①高れい者や車いすの人とかを
補助するもの
- ②ひなん場所の近くに、
ひなんのときにひつようなものを
入れて動くじょうぶなロボット
(かぎつき&ぬれてもだいじょうぶ)
- ③ひなん場所で
電気、水、Wi-Fiが使えるせつび

こんなものがあったらいいなと思いました！

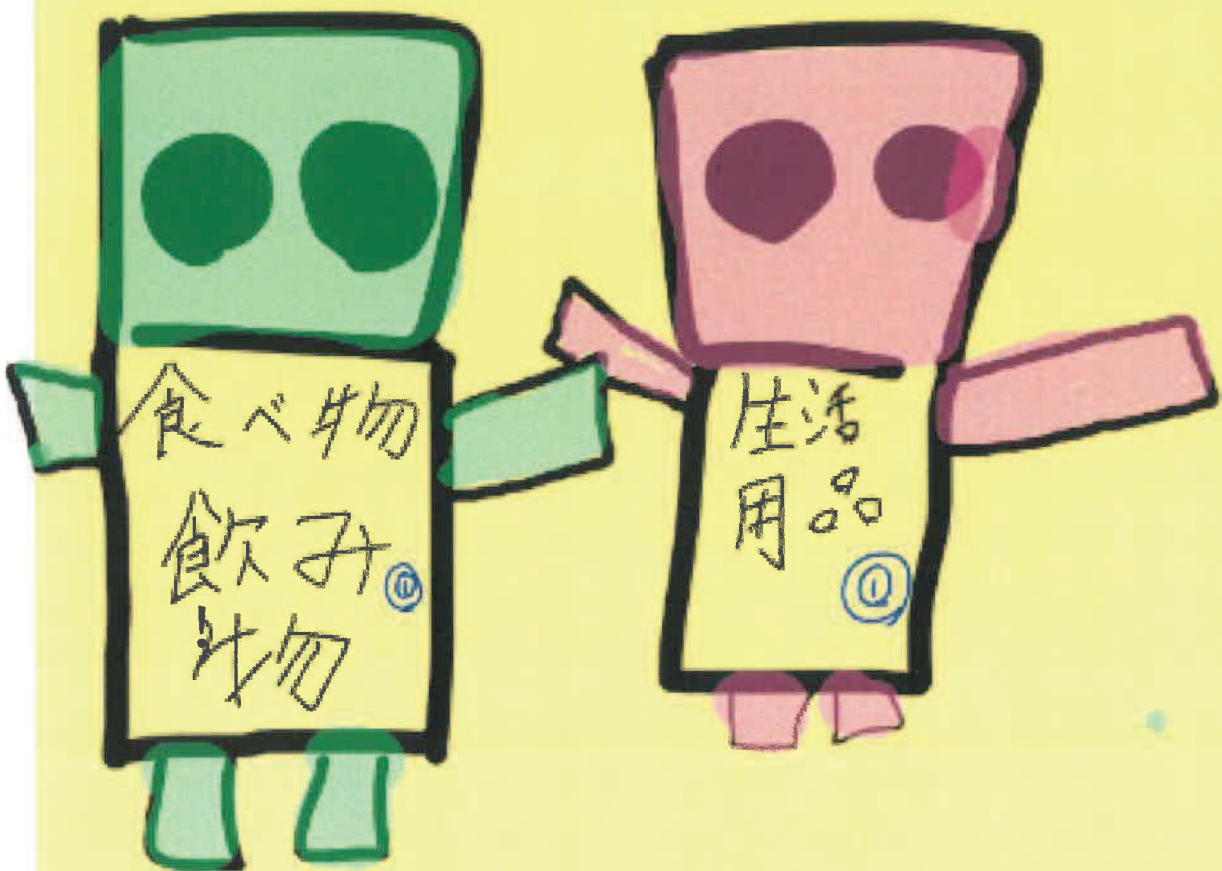
○ 自分が考えたあったらいいもの！

①高れい者や車いすの人とかを補助するもの



○ 自分が考えたあったらいいもの！

②ひなん場所の近くに、ひなんした時にひつようなものを入れた、ぬれてもだいじょうぶなロボット(かぎつき)



声をかけたら、いっしょに歩いてくれる。
うでが伸びるようになっていて、屋根を作ってくれる。

かぎは地区の人が持っていて、だれがその場に行くか分からないので、みんなにかぎをわたしておく。地区の人がみんなで入れるものを考えて、協力して入れておく。

○ 自分が考えたあったらいいもの！

③ ひなん場所に電気、水、Wi-Fiのようなものが使えるせつび



井戸を使って、必要な水が使えるようにする。



電気を必要なときだけ、太陽光パネルを使って作った電気を使う。



Wi-Fiのようなものは、太陽光パネルと一体化して、電話やインターネットを使うことができる。

こんなものがあったら、地区のみんなが助かりそうだと思います。本当に、わたしが考えたあったらいいなと思うものができたらいいのにな。

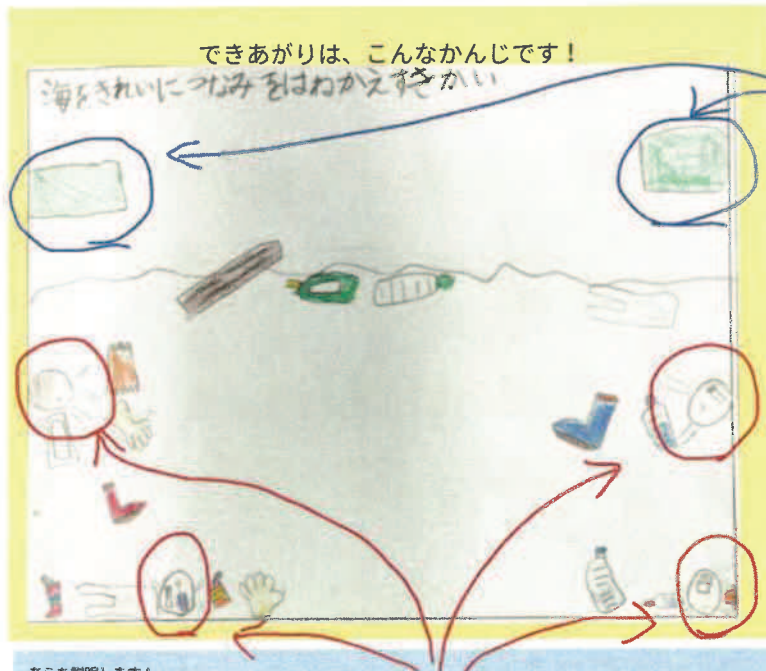
2 知らせたいアイテム②

- みんなで考えた
あったらいいなこんなもの！



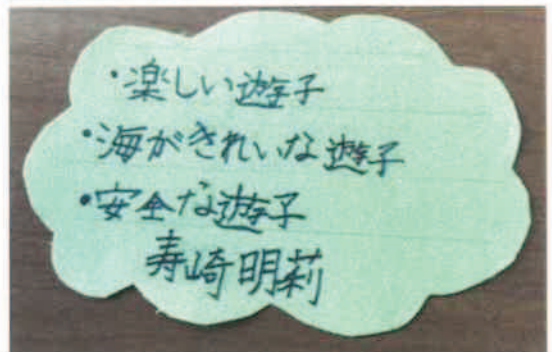
令和6年度の「事前ふっこう教育プログラム」という学習で、遊子小学校の3～6年生のみんなであったらいいなと思うものを考えて、まとめました。みんなが、それぞれにいろいろなことを考えながら、そうぞうしてまとめている、とてもおもしろいです。みんなにかくにんして、しょうかいしていいと言ってくれたので、みなさんにもしょうかいします。

私は、 **海がきれい！つなみはこない安全な遊子！** を考えました。



考えを説明します！

つなみをはねかえすきかいは、つなみがくるときははんのうしてきかいはのびたり、くっついたりします。つなみがおさまるときかいかがつてにひらいて様子が見れるようになります。



考えを説明します！

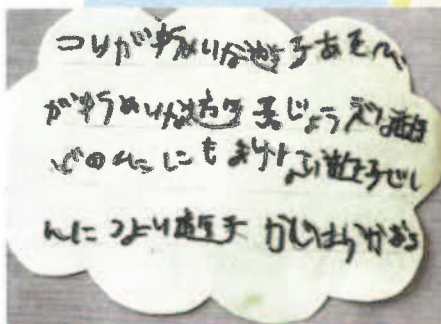
丸いきかいは海の中に落としたらころがってゴミをどんどんすいこんでいきます。かいしゅうしたゴミは、ころがるうちに魚のエサになってばらまいていきます。
(ゴミはかいしゅうしたらきかいの中で小さくなる)
(きかいはこわれることはない)

これは、わたしが考えたものです！

ぼくは、 **つりイベント** を考えました。

考えを説明します！

できあがりは、こんなかんじです！



ゆすに
たくさんの方が
きてくれて、
みんなて
つり大会を
したい！

みんなに
くばる
ちらし

ゆすのようしょく
たい

ぼくは、**自然災害が起きる3日前にサイレンが鳴る塔** を考えました。

考えを説明します！

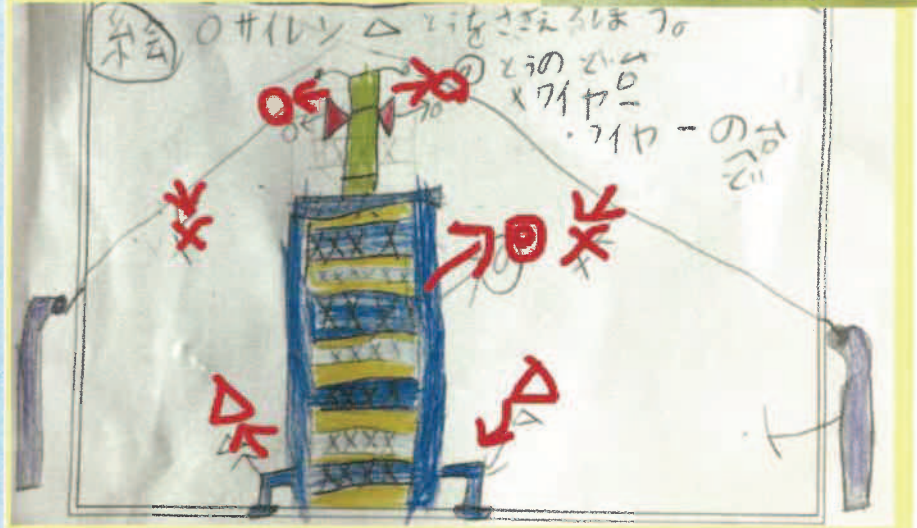
○ サイレン

△ ささえるぼう

◎ 土台

× ワイヤー

できあがりは、こんなかんじです！



ルールにもまれるやす。
みんなにやさしいやす。
ぼうさいに強いやす
山下 れんや

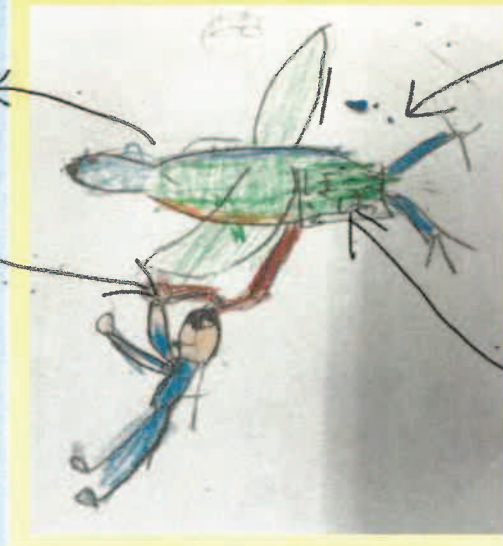
自然災害がおこる3日前にきけんをさちす!!

ぼくは、**そらへゴ** を考えました。

考えを説明します！

ふえを
ふいたら
さてくれる。
フリ
おで
す。

できあがりは、こんなかんじです！



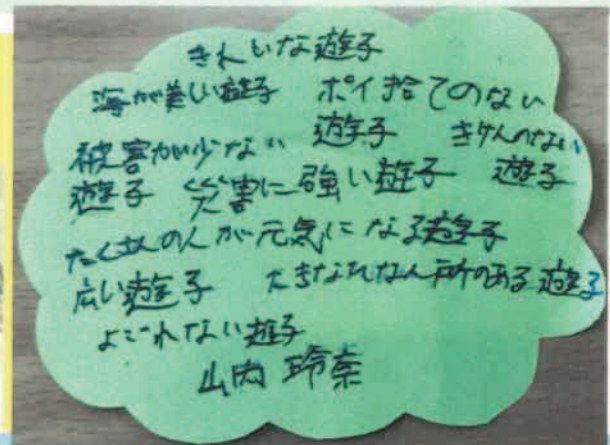
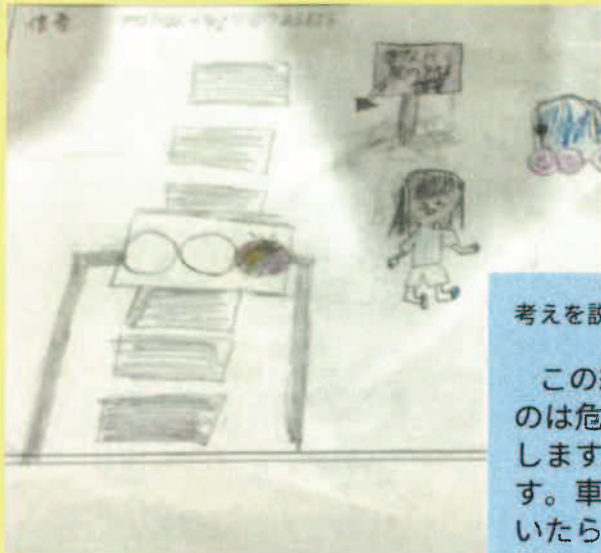
つなみが
きたら、
ひなんじよまで
つれていって
くれる。

ぼうさい
ばっくで
す。

ぼうさいに強い
遊下
村永和

私は、**危険に反応する信号**を考えました。

できあがりは、こんなかんじです！

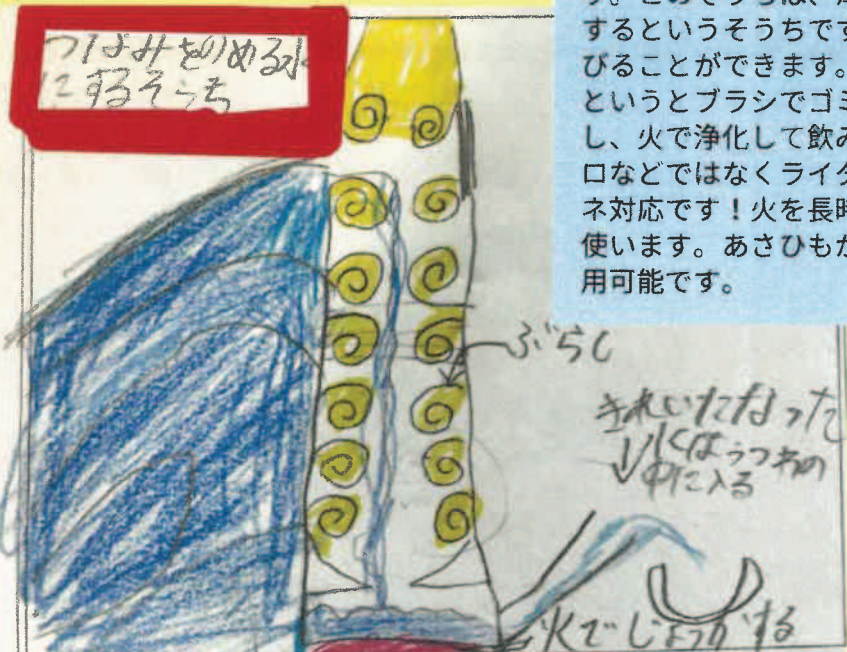


考えを説明します！

この絵は、車が通っています。でも、人が通っているのは危険です。そこで、危険なときには、信号が光りだします。そうすると、危険か危険じゃないかがわかります。車だけではなくて、いろいろな危険がせまってきていたら、危険だということが分かるように、光って知らせてくれます。この信号が光り始めたら、危険を感じて、すぐに逃げるができます。

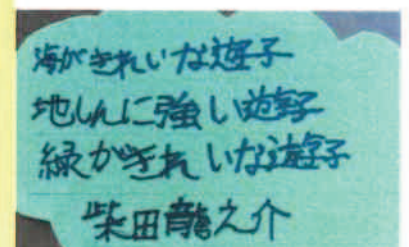
ぼくは、**津波を飲める水にするそうち**を考えました。

できあがりは、こんなかんじです！



考えを説明します！

僕が考えたのは津波を飲める水にするそうちです。このそうちは、津波を吸収しつつ飲み水にもするというそうちです。水があれば最低3日生き延びることができます。どうやって飲み水にするかというとブラシでゴミなどのいらぬ物を洗い流し、火で浄化して飲み水にします。火はガスコンロなどではなくライターでじゅうぶんです。省エネ対応です！火を長時間つけるため、あさひもを使います。あさひもない時は猫じゃらしでも代用可能です。



ぼくは、**家から学校までの橋** を考えました。

できあがりは、こんなかんじです！



つなみかき遊子
楽しい遊子
じしんに強い遊子
上野 糸吉 案

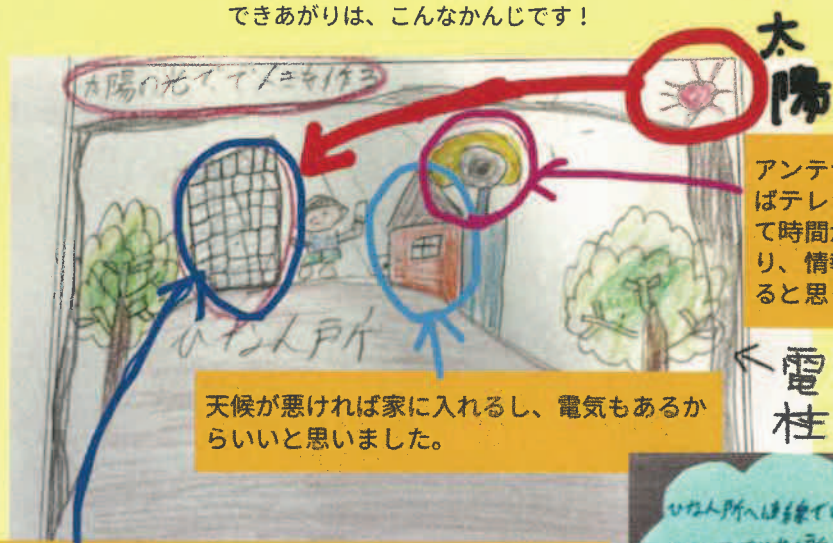
考えを説明します！

まず、これは、家から学校まで車やバスで直線で行けるので楽です。あと、たとえば、津の浦だったら、津の浦は曲がる道が多いので、事故がすくなくなります。最後に、災害のとき、津波が来る前に、屋上までつながる橋になります。これは、素早くひなでぎるのでとっても良いところです。

ぼくは、**太陽の光で電気を作るそうち** を考えました。

考えを説明します！

できあがりは、こんなかんじです！



アンテナとかもあればテレビなども見れて時間がつぶせたり、情報も収集できると思ったからです。

電柱

天候が悪ければ家に入れるし、電気もあるからいいと思いました。

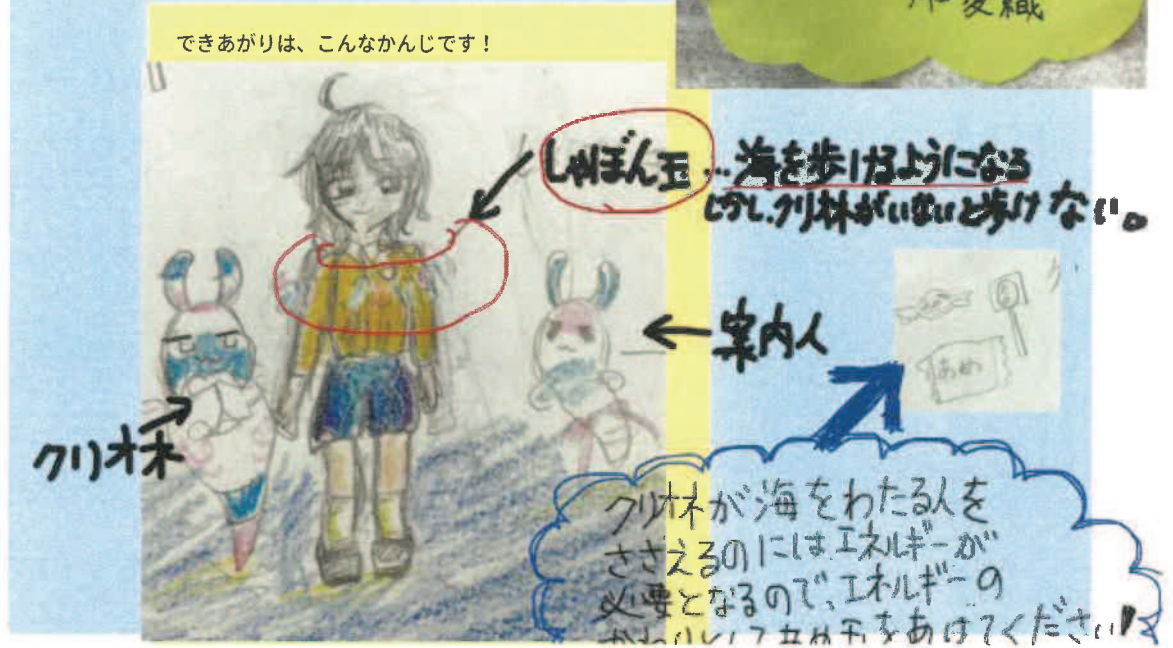
まず、ひなん所に太陽の光で電気を作るそうちがあると自動で電気が作られるので、電波があれば助けや人とも電話ができると思います。

ひなん所へは電気をいり遊子
テレビやパソコンでひなん所へいける遊子
ひなん所に電機がある遊子
川口弘明

私は、**クリオネリウム** を考えました。

考えを説明します！

できあがりは、こんなかんじです！



・災害に強い遊子
・災害で人を死なせない遊子
・食べ物がいくらでもある遊子

ハロ愛織

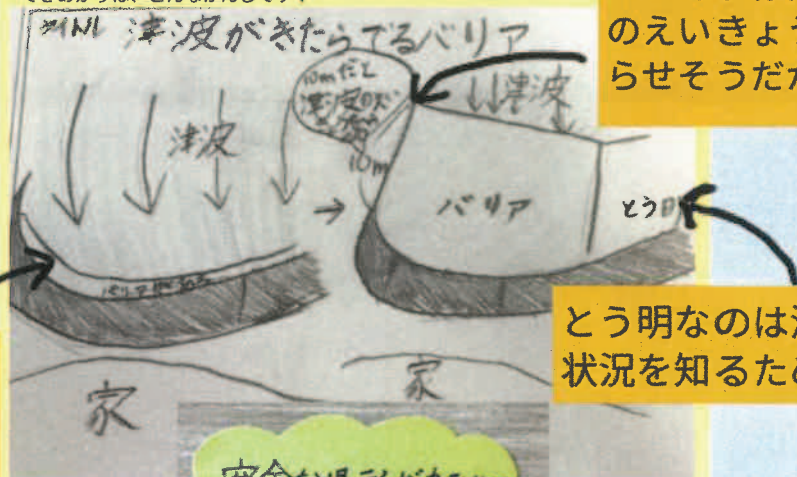
私は、**津波がきたらでるバリア** を考えました。

考えを説明します！

できあがりは、こんなかんじです！

10mあれば津波のえいきょうを減らせそうだから。

バリアはいつも海の中にある。いつもあれば津波が急にきた時も対処できるから。



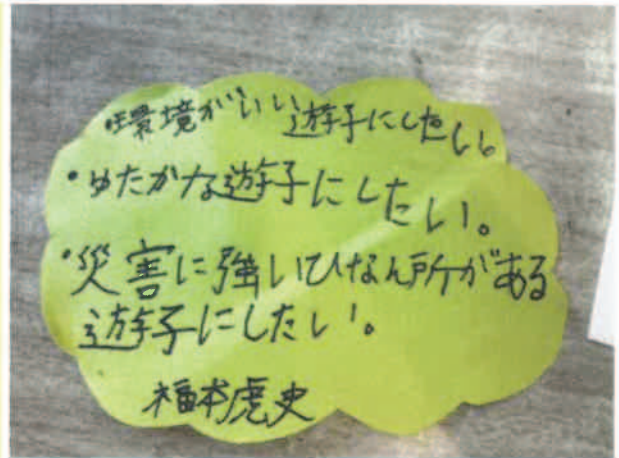
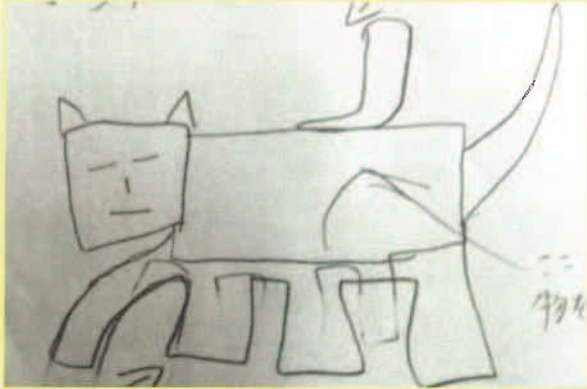
とう明なのは海の状態を知るため

安全な場所がある遊子。
みんなが楽しく過ごせる遊子。
災害に強い建物がある遊子。

寺崎 結宇

ぼくは、**避難ロボット** を考えました。

できあがりは、こんなかんじです！



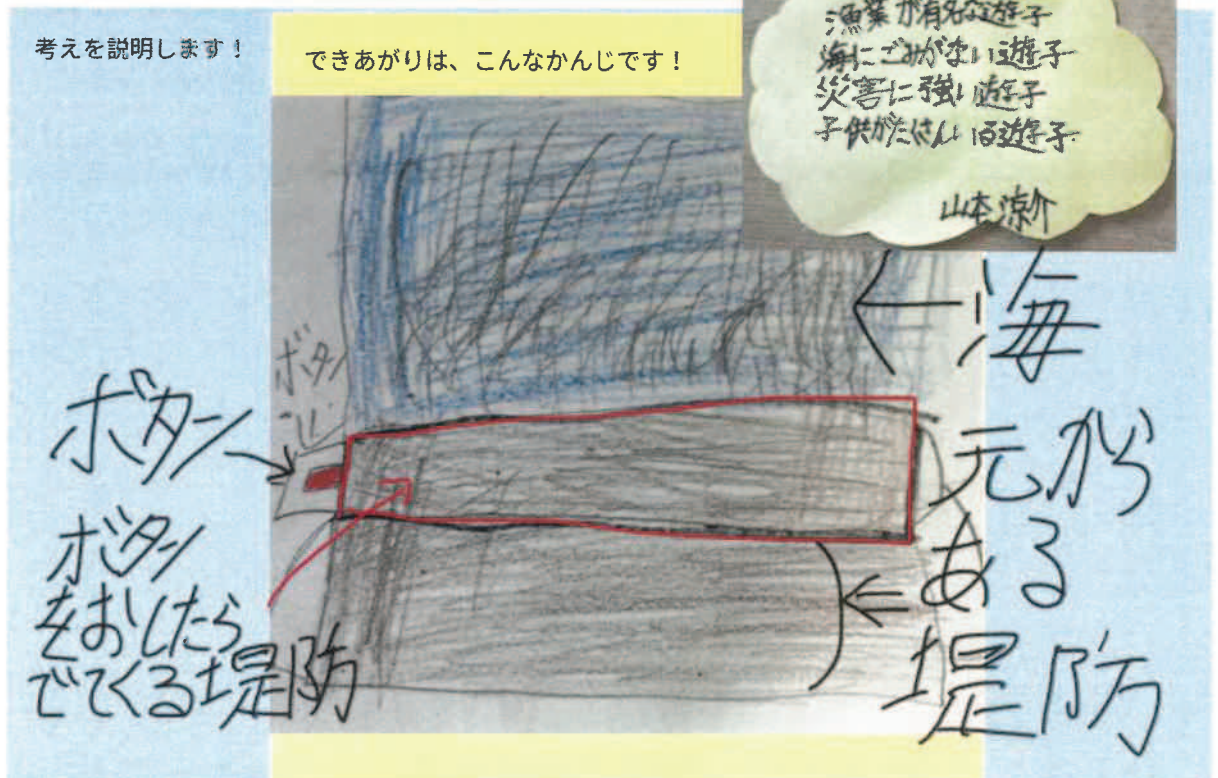
考えを説明します！

ひなんロボットは地震が起きると自動で起動します。
そして、ひなんしている人が、ひなんロボットに乗ると高い場所に逃げてくれます。
津波が襲ってくると、初めは短いあしだけど、自動であしが伸びて、津波に負けない強さとスピードで動いて、逃げてくれます。

ぼくは、**ボタン式非常用堤防** を考えました。

考えを説明します！

できあがりは、こんなかんじです！



3 知らせたいアイテム③

○ 遊子にあったらいいひなん場所！



矢の浦にできた広いひなん場所！
でも、もんだい点がいっぱい・・・。



魚見が丘に建つ新しい公民館

東京大学大学いんのお兄さんたちが考えてくれた遊子にあったらいい「新しい公民館やキャンプ場」のもけい



令和7年に矢の浦に新しいひなん場所ができました。遊子には、高いところにある広い場所がなく、ひなん所がありませんでした。だから、高くて広い場所ができたのは安心だと思います。車もとめられるし、足場も悪くありません。そして、そこには防災用品が置けるように大きなコンテナも置いてあります。しかし、ゴミを捨てている人がいたり、そこをトイレがわりにする人もいるみたいで、におう所もありました。また、初めはきれいでしたが、草がたくさん生えてきているので、そうじとかをした方がいいと思いました。また、コンテナの中はテント、トイレや発電機が入っていました。まだまだ、中に入れることができると思うので、ひつようなものが増えていくといいなと思います。かぎは、ついていませんでした。災害のときにすぐに使えるようにするためかもしれませんが、これから、いろいろ整えていかなくてはいいなと思います。



令和6年度に、東京大学大学院のお兄さんやお姉さんと、防災のことをいっしょに勉強するきかいがありました。そのときに、お兄さんたちが考えた「遊子が防災力を高めるためにあったらいいもの」を教えてもらいました。それは、今は海のそばにある公民館を魚見の丘に新しくたてて、その近くにキャンプ場として広い場所を作るという考えです。もけいもあって、とても分かりやすかったです。6年度の6年生たちは、いっしょに現地調査にも行っていて、みんなが「実現できたらいいのにね。」と言っていました。もし、それができれば、わたしが遊子にほしいと思う、

①ひなん場所にトイレ、おふろがほしい。

②安全な場所に多くの人が集まれる強いたて物がほしい。

というねがいがかないそうです。まだ、本当にできるかは分かりませんが、いつか、こんなものが遊子にできると、みんなの人たちの役に立つと思います。実現できたらいいのにな、と思います。

6 まとめ

災害に強い遊子になったらいいなと思いながら、いろいろなことを考えました。自分が考えたものや、遊子にあったらいいものなどが実際にできたらいいなと思いました。でも、それが現実になる前に、災害が起こってしまったらいけないので、そうそうするだけでなく、家でも、いろいろじゅんびをしています。でも、防災袋にまとめて、すぐに持ち出せるように用意していないから、用意したいなと思いました。とくに、生活用品や、食べ物、飲み物を袋の中に入れておきたいです。多めに食べ物を用意しておけば、自分だけじゃなく、家族や他にひなんした人にも分けてあげられます。遊子小学校や公民館などにも防災食がびちくされていますが、それだけでは足りないかもしれません。みんなで少しずつじゅんびをして、災害にそなえることができれば、災害に強い遊子になっていくと思います。新しくできたひなん場所の写真をとりに行ったときに、ポイ捨てされたごみを見つけました。せっかく、できた広いひなん場所にごみを捨てるのをやめてほしいです。みんなが気を付けながら、遊子全体が今よりもっとよくなるといいなと思いました。ぼうさいそうこの中には、テントや発電機、トイレなどが入っていましたが、ずっと外にいるのがいやな人もいるだろうし、もっとテントの数が増えるといいとも思いました。これからも防災学習を続けて、災害のそなえをしていきたいです。

